

## ■ 編集委員会からのお知らせ

◎編集委員長・編集委員が交代しました。

編集委員長・・・下村(10期) → 石垣(20期)

編集委員・・・松本(8期) → 成島(22期)

会員の皆さまには日頃よりOB会報作成に多大なご支援を頂きましてありがとうございます。

今号から、新役員からのお届けとなります。今まで同様ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

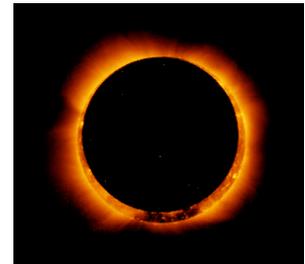
## ■ 編集委員会から

編集委員長 石垣(20期)

編集委員長を引き受けてから2号目が第50号の記念特集号にあたるという幸運(?)に恵まれ、会報の歴史による責任の重さをひしひしと感じています。一時はどうなることかと思いましたが、多数の方々のご協力により発行予定の4月1日に何とか間に合い、OB会員の皆様のお手元に会報第50号をお届けすることができました。

ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

さて、今年5月21日は月と重なった太陽がリング状に見える「金環日食」が起こるそうです。今回の金環日食は九州南部から関東近辺まで観測でき、日本の広い地域で観測できるのは173年ぶりだそうです。ちなみに小生が住んでいます千葉県はリングが最も美しく見える「中心食線」の対象地域で、千葉県内は午前6時過ぎから日食が始まり、徐々に欠けて午前7時半頃に金環日食となるそうです。自然を愛するワングルの皆様、晴れを祈りながら早起きして是非金環日食を見ましょう(小生はその時間は通勤電車の中、しかも地下鉄・・・トホホ)。



## ■ 編集委員会から

編集委員長 石垣(20期)

会報第51号の編集作業が日程的に丁度ロンドンオリンピックと不運にも重なってしまいました(笑)。オリンピックを見ているとなかなか編集作業は進まず、あっという間に夜中となり、結果睡眠不足の毎日でした。忙しくも眠い中、原稿執筆や編集をしてくださいました皆様、ありがとうございました。

ロンドンオリンピックのトピックとしては、やはり2人も横浜国大出身の選手(100mハードルの木村文子選手、柔道100kg超級の保科知彦選手)が出場したことでしょう。残念ながら予選や1回戦で敗退してしまいましたが、母校出身の選手が世界最高の舞台に出場すること自体、驚嘆であり誇りだと思います。

今回のオリンピックで初めて開会から閉会まで毎日、日本選手がメダルを獲得したそうです。また、メダル総数も38個と、アテネオリンピックの37個を超え最多だそうです。こんなに日本選手が活躍しましたから、毎日が寝不足になったのも当然でしょう。オリンピックも終わり会報編集も終わり、これでやっと夜ゆっくり眠ることができます。



## ■ 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

皆様はもうお気づきでしょうか。会報第48号から裏表紙の写真は富士山を載せています(ただし、第51号だけは自由投稿の槍ヶ岳の写真が綺麗でしたので富士山は休みました)。富士山はやはりどこから見ても美しい日本一の山ですね。勝手にYWVOB会富嶽三十六景を目指して、写真を収集していきたいと思ひます。

さて、早いものでもう師走です。1年が過ぎるのが段々速くなってきたと感じるのは小生だけでしょうか。会員の皆様が本会報第52号をご覧になるのは、「今年も残すところあと数日」と言っている頃だと思ひますので、少し早いですが、「皆様、よい年をお迎え下さい」。

## ■ 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

自然を愛するOB会員の皆様は春を満喫されていることと思ひます。この時期は春本番に向かつて心がウキウキしてきますね。二十四節気の季節の名前もこの時期は楽しくなります。虫も春を感じて地中から出て来る「啓蟄」、今年3/5です。日の温かさ、明るさ、長さを感じてくる「春分」は3/20、そして天地が清々しく、世の中が明るい空気で満ち溢れる「清明」は4/5、まさに今ですね。花見で酔うだけではなく、本当の春を感じに出かけてみようと思ひます。「そうだ、・・・に行こう」

## 祝 富士山世界遺産登録 特集①



房総から (鳥場山 山行) 2012.03



大山から 2013.01

### 編集委員会からのお知らせ

OB会ホームページに掲載しています電子版の会報はカラーですが、印刷版では予算の都合上、特別号以外は白黒でした。この度、印刷所を変更することにより予算内で印刷版もカラーにすることができました。これを機会に表紙やタイトルなどをカラーにしました。これからもより良い会報を目指していきますので、今後ともご愛顧をよろしくお願いいたします。

## 祝 富士山世界遺産登録 特集②



高川山から 2008.12



御殿場新五合目登山口から 2013.07

## 祝 富士山世界遺産登録 裏表紙



九鬼山からの富士山  
2009.01

## 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

OB 総会報告や多数の OB 会員の方々からの近況報告など本号に沢山の原稿を頂きましたので、編集委員会は嬉しい悲鳴を上げながら編集を行ないました。盛り沢山の原稿はいつ載せるの? 「今でしょ!」と思い編集した結果、誌面が窮屈になってしまいましたがお容赦下さい。来年も「お・も・て・な・し」の心で、皆様が「**じゃえじゃえ**」と驚くような誌面を目指し、頂いた原稿の御礼は「**倍返し**」で、誌面向上を図ってまいります。それでは皆様、良い年をお迎え下さい。

## 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

今年に入り悲しいお知らせが3通続けて入りました。文字通り同じ釜の飯を食った仲間とのお別れはとても悲しく、また、思い出は尽きないものです。旅立たれた方それぞれの人柄や思い出に溢れたすばらしい追悼文を編集委員会にお送り頂きましたので、追悼の一助となるよう本号に掲載させて頂きました。追悼文を読み、改めて仲間とはいいものだな、としみじみ思いました。

皆さん、旅立たれた方々の思い出は大切に残しながら、健康に留意して精一杯生きていきましょう。そして、我々もいつかは向こう側に行きますので、その時は再会を祝し、また共に山に登りましょう、YVWらしく。

## 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

今回は休みの話を2題。1つ目は「**山の日**」。本年8月号のメルマガで伊藤さん(23)が取り上げてくれた山の日です。「海の日」があっても「山の日」が無く、寂しい思いをされていた方もおられたでしょう。今年5月に国民の祝日に関する法律が改正され16番目の祝日として「山の日」が生まれました。山や自然に親しむ我々にとっては待ちに待った祝日であり、2016年から始まります。しかし、なぜ、8月11日なのでしょう。何かの記念日でしょうか。調べても記念日らしい事は出てきません。Wikipediaには、お盆休みと連続させやすい利点があるとしてお盆前の8月12日となったが、日本航空機墜落事故がその日だったので最終的に8月11日になった、と書いてあります。休みが増えるのは嬉しいですが、山に関する記念すべき日が沢山あるのに、わざわざ何の関連も無い日にしたことがしっくりいかないのは小生だけでしょうか。

ちなみに、海の日は7月第3月曜日ですが、元は7月20日で1876年に明治天皇が東北巡幸の後、横浜港に帰着した日だそうです。まだ、日にちに根拠があるだけ良いですね。「山の日」の文句になってしまいましたが、前向きに考え8月11日を自分たちの「記念日」となるように、山と自然に親しむ活動をしたいと思います。

2つ目は「**秋のシルバーウィーク**」。敬老の日が9月第3月曜日となったために、敬老の日が秋分の日の前々日になると、間の日が国民の休日となり土曜日を含めると5連休になります。2009年に第1回目があったから暫くありませんが、来年2015年は右のように秋のシルバーウィークになります。しかし、その次は2026年まで待たないといけません。滅多にない大型連休ですし9月は気候も良い季節ですから、今から自然に親しむ予定でも作っておきましょう。

2015年

							9月	
日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12		
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26		
27	28	29	30					

早いものでもうすぐお正月です。沢山の方々にご支援をいただいて、今年も無事、会報を3号発行することができました。会報原稿の願いを「ダメよ～ダメダメ」などとは言わず、「ゴーストライター」も使わず快く執筆していただいた方々、「ありのままで」自由な素晴らしい原稿を投稿していただいた方々、ありがとうございました。編集者としては涙が出るほど嬉しいですが、御礼の「号泣会見」はさすがにいたしません。会報そのものが「レジェンド」となることを目指し、来年も全力で編集に努めたいと思います。(昨年末発行会報第55号「編集委員会から」に味をしめ、今年も流行語にチャレンジしてみました。この原稿を書いている時はまだ流行語大賞の発表前ですが、どれかは入ると期待しています!(^)! 蛇足:「STAP細胞はあります」も使いたかったのですが、いいアイデアが浮かびませんでした。難しい(≧▽≦))

さて、本会報第58号を読まれて、「あれっ、何か変わった」と思われた方は真の会報読者です。実は、本文の文字フォントを変えました。長年、会報本文のフォントは「全角 MS 明朝、半角 Century Gothic、ポイント10.5」を使っていました。端正な明朝体と軽快な Century Gothic の組み合わせはユニークであり、OB 会報の特徴ともなっていました。しかし、記号などを見易くするために一部他のフォントも使っていますので、編集する身としては作業が複雑でした。そこで、今回から文字も記号も全て、ややカジュアルな丸みを帯びたフォント「AR AD Gothic JP Medium 10 ポイント」を使うことにしました。最初は見慣れないので違和感があるかもしれませんが、新フォントを末永く宜しく願います。

**もう一言** 裏表紙の写真は YWV 企画展 (10月25日) で昨年同様登場しました 笹木さん (19) のお手製の山ガールです。とても可愛いですネ。と言うことで、今回は新富岳三十六景はお休みです。

## ～車内風景～

最近、通勤電車でザック(カバン?)を背負った人をよく見かけるようになりました。ザックと言えば山ではお馴染みですが、荷物の持ち運びが楽ですし、何よりも両手が使えるのがメリットですね。その便利さからか、若者から壮年まで多くの方がスーツ・コートの上にザックやビジネス用のカバンを背負っています。

昨日も満員電車に乗って何気なしにいつもの車内風景を見ていると、突然嫌な気持ちになりました。それは電車が混んでいるにもかかわらず、ザックを背負ったまま立っている人や、背負ったまま座席に座っている人が沢山いたからです。その人たちは皆スマホや携帯電話に夢中です。両手が使えるメリットを十分に活用していますが、こんな風に思いました。「自分の世界に入り込んでいて、他の人への配慮ができない悲しい人なんだな」と。

電車の中ではザックを背中から降ろすのが当然です。他の人の迷惑になりますからね。「最近の人はマナーが・・・」などと考えながら社内のザックを見ていると、大学時代、土曜日の昼頃、相鉄線・小田急線を乗り継いで丹沢に出かけたことを思い出しました。当時は学校も会社も土曜日は半ドン(これは死語?)で、帰宅時間も重なり、電車がとても混んでいたことを覚えています。さすがに背負ってはいませんが、大きなキスリングを持って何人も電車に乗り込む訳ですから、他の人から見たら結構迷惑だったのでしょうか。それから40年近く経って、少しは大人らしく他の人に配慮ができる人間になったかなと自問自答(正直に言う「反省」)した次第です。

もう一言)

P17に書かれた鴨志田君の山行記録を見て、闘病中にこれ程まで山に登った彼の執念、凄さを感じました。そして、生きている喜びと、時を無駄にしないことを改めて教えてもらいました。ご冥福をお祈り申し上げます。

## ■ 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

前回のOB山行は小野子山で群馬県、今回の鼻曲山は群馬県と長野県の境界、更に同期で今年亡くなった水田君の出身地は群馬県、小生の今年の夏休みは群馬県の草津町、ということで群馬県の話にしました。

群馬に行くとき目に入るのが「上毛」「両毛」などの文字。「両毛」ってどのあたり？「上毛」はあるけれど「下毛」はあるの？など疑問が沢山湧いてきたので調べてみました。

万葉の時代、現在の群馬・栃木あたりは「毛野国（けのくに）」と呼ばれ、その後、西の群馬側が「上毛野（こうづけの）」、東の栃木側が「下毛野（しもつけの）」となり、江戸時代ではそれぞれ「上野国（こうづけのくに）」、「下野国（しもつけのくに）」になったそうです。「かかあ殿下とからっ風」や「木枯し紋次郎」で有名な「上州（じょうしゅう）」はこの上野国の略式名。では下野国の略式名は？ 正解は下州ではなく「野州（やしゅう）」。「下」の文字は嫌だったのでしょうか。これで、群馬県と栃木県を繋ぐJR線が「両毛線」であることが理解できました。山行前にその地域のことを予習しておく、実際に見聞きすることがもっと楽しくなるかな、と真面目に思いました（実際に予習するか否かは・・・）。

上毛のことをご存じの方からは「何故、こんな当たり前のことを書くのか」と叱責されそうですが、小生が無知ということでお許し下さい。それでは、OB会員の皆さん、OB総会でお会いしましょう。

## ■ 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

パリ同時テロのような悲惨な事件が起こり、景気も停滞気味でパツとしない世の中ですが、皆様の今年は如何でしたでしょうか。暗い世の中であっても山や自然と共生し親しんでいくことで、明るい人生を過ごして行きたいものです。OB会の活動では今年も3回山行が実施され、会報も3回発行し、10月31日にはOB総会、ホームカミングデー、大学祭の3イベントが同時開催されました。そうです、「トリプルスリー」です。OB会報は非売品ですので「爆買い」しなくても「安心して下さい、(封筒に) はい(っ) てますよ」。OB会ではこの会報、メルマガ、OB会ホームページ、YWW歴史資料館ホームページなど色々なメディアを使って情報発信をしていますので、「まいにち、OB会！」でお楽しみ下さい！ それでは、皆様、良いお年をお迎え下さい。来年もOB会報を宜しく願います。（今年もまた流行語ネタをやってしまいました・・・とにかく明るい編集委員会）

### 【もう一言】

今年は何と言っても「南ア」です。南アルプスではなく南アフリカですヨ。ラグビーファンの小生としては今年が一番はラグビーW杯でジャパンが強豪南アを破ったことです。最高でした。エディー・ジョーンズHCも「五郎丸」もみんな良かったです。夜中に一人興奮しました。

この会報が皆様のお手元に届くのは、春爛漫の頃だと思います。さて、青い春、「青春」とはいつまででしょうか。10代、20代、それとも若々しい気持ちがあれば永遠に青春でしょうか。「青」の持つ爽やかさと「春」の高揚感で、とても良い印象の言葉ですので、様々な場面で見ることができます。小生は今年還暦を迎えますが、「今、青春です！」とは言い難い年になってきました。青春の次は余り言われませんが、五行思想では「朱夏」「白秋」「玄冬」と続くそうです。子供も手が離れ、仕事もゴールが見えてきた年頃は何でしょうか。心身共に老けてくるので白秋？ 更に玄冬？ いや、まだ白くなって枯れたくはないです。気持ちは真っ赤（朱色）でエキサイティングな日々を送るぞ、という意気込みで「今、朱夏です！」と言いたいですネ。OB会の先輩を見渡すと、まさしく「朱夏」真っただ中の人達が沢山います。小生もそれに習い、朱夏を、人生を謳歌したいと思います。家に籠らず、やはり、ワングルらしく外に出て、五感を使って自然に触れたいです（酒を持参したら更にいいですネ）。



「そうだ、外、行こう！」

#### 【もう一言】

タイトル「観天望記」は誤りではありません。「編集委員会から」はYVWの主旨に沿って自然、季節、山、アウトドアなどに関連することを題材に書いてきました。何かそれに相応しいタイトルにしたいと日夜(?)考えてきましたが、如何せん、創造力が欠落した還暦人間なので良いアイデアが出ません。ここはやはり、二次創造（小生の場合はどちらかと言うと模倣、パクリ）しかないと思い、「空を含めた大自然の動きを観て感じて、会報の記事を望む」ということで「観天望記」としました。皆様、今後とも宜しくお願い致します。

## ダンチョネ節口上を探る

10月29日に今年もOB総会と同日にホームカミングデーが行なわれ、その中のプログラムに立食で歓談や催し物を楽しむ交流会があります。その交流会のトリを飾るのがYVVのOB・現役がリードする「みはるかす」斉唱です。20期安武さんの口上から始まるのはもう毎年の恒例です。この口上は山で歌ったダンチョネ節の口上であることにお気づきの方も多いでしょう。しかし、ダンチョネ節は神奈川県三浦市三崎の民謡なので、「富貴名門の子女に・・・」の口上はどう考えても不釣り合いだと思います。そこで今回の「観天望記」は多少残ったページを使って、ダンチョネ節の口上とは何なのかを探索してみました。

## 1. まずは、ダンチョネ節とは

ダンチョネ節（歌詞はスペースの関係で割愛）は前述しましたように三崎の民謡で、港町の花街で三崎甚句と共に歌われてきたものだそうです。「ダンチョネ」とは「断腸の思い」とか「ただの漁師の掛け声」とか諸説あります。真面目で偉い団長さんでさえもねえ〜、という意味の「団長さんもね」という説もあるそうです。

詩の内容は船乗りの悲哀ですから、個人的には「断腸の思い」が一番しっくりきます。悲哀の歌ですので民謡から離れ、沢山の替え歌が大正から昭和に掛けてできたようです。代表的なのは軍隊での替え歌で、やはり悲哀が漂っています。特攻隊節の歌詞から一部を書き出しました。

## (1番)

沖の鷗(かもめ)と飛行機乗りは  
何処(どこ)で散るやらネ  
果てるやらダンチョネ

## (5番)

飛行機乗りには娘はやれぬ  
やれぬ娘がネ  
行きたがるダンチョネ

見覚えのある歌詞に近いでしょう。我々が歌ったダンチョネ節はこの軍隊の替え歌を基に更に「山の男」を入れた替え歌と考えられます。ネットワンダリング（注）してみると、色々な大学のワンゲルや山岳部で微妙に歌詞が違うダンチョネ節を多く見ることができます。どこかのホームページには戦後、山岳ブームと共に山バージョンのダンチョネ節が大学間で流行ったと書いてありました。

（注：「ネットサーフィン」という言葉がありますが、我々はワンゲルですので、勝手に「ネットワンダリング」と言う言葉を作ってみました）

## 2. では、口上は何処から

更にネットワンダリングをしていると見つかりました。「蒙古放浪歌」です。昭和初期に流行った歌で蒙古の砂漠を舞台に大和男子の血潮を歌ったものです。後に鶴田浩二さんや加藤登紀子さんも歌っていました。メロディーや歌詞はダンチョネ節とは全く異なる歌ですが、この歌には「序文」というものがあります。見ればすぐに、「これがダンチョネ節の口上のルーツだ!」と感じます。以下、蒙古放浪歌の序文を書き出しました。

富貴名門の子女に恋するを純情の恋と誰が言う  
路頭に彷徨う女性に恋するを不純の恋と誰が言う  
雨降らば降るがよい 風吹かば吹くがよい  
泣いて笑って月下の酒場にこび売る女性は  
水蓮の如き純情あり  
酒は飲むべし百薬の長

女は買うべし人生無上の快樂  
幼少美女の膝枕に快樂の一夜明ければ  
夢もなし また金もなし  
砕く電剣握る美林  
のぞくコンパス六分の儀  
ああ我山行 渡鳥  
いざ唄わんかな 蒙古放浪の歌を

今度は山ではなく海です。この歌を基に水産系の大学や学部（旧東京水産大学や北海道大学など多数）を中心に「水産放浪歌」や「水産逍遙歌」という名の替え歌が寮歌としてできた様です。そしてその序文も同様に替えられ、特に最後の四行は替えやすいので色々なバージョンがあります。以下例として2つ書きます。

- 叩く電鍵 硬く握る操舵機、我ら海の子鳴鳥、明日の命と誰ぞ知る、いざや歌わんかな水産逍遙歌
- 響く雷鳴 握る舵輪、睨むコンパス六分儀、吾等海行く鳴鳥、さらば歌わん哉 吾らが水産放浪歌  
（単語で意味の分からないものは調べましたが、スペースの関係で割愛）

### 3. ついに合体、口上とダンチョネ節

大学の山岳系クラブで歌われていたダンチョネ節と水産系の大学などの寮歌として歌われていた水産放浪歌の序文が、大学内で合体したとしても不思議ではありません。元は替え歌ですから、変化したり良いと思ったものを取り込むのは当たり前だったのでしょう。残念ながら合体のルーツは見つかりませんが、我々が知っているダンチョネ節の口上と歌が、このようなルートで出来上がったことは間違いないと思います。

最後に YWV 1977 年歌集に書かれていたダンチョネ節の口上を下記します。歌集通りの原文を書き、小生が本稿作成の過程でこちらの方が正しいのではないか、と思う漢字等を括弧で追記しました。



風紀（富貴）名門の子女に恋するを純情の恋と誰が言ふ、ヨイシヨ  
路頭にさまよう女性に恋するを不情（不浄）の恋と誰が言ふ、ヨイシヨ  
雨降らば雨降るよし 風吹かば風吹くよし  
泣いて笑って月下の酒場にこび売る女性の中にも  
水蓮のごとき純情あり ヨイシヨ  
酒は飲むべし百華（百薬）の長 女買うべし人生至上の快樂  
幼少（妖娼）美人の膝枕に快樂の一夜を明くれば  
（夢もなし また金もなし）  
流れる汗にザイルをかつぎ、かじかむ腕にピッケルかかげ  
ああ我等山行く渡り鳥 明日の会（命）を誰か知る

尚、本稿はネットを中心に調べたものであり、更に替え歌や伝承のため変化を起こしていますので、内容はあくまで私見で歌詞も正確かどうかはわかりません。ですので誤りがあっても「ダンチョネ」と言って、大らかな気持ちで読んでいただければと思います。また、口上には女性に対する不謹慎な表現がありますが、原文のままにしました。昔の話だからということでご容赦ください。



(おまけ)

ちなみに、八代亜紀さんの舟歌の中にダンチョネ節が挿入されていますが、「沖のカモメに深酒させてヨ・・・」は作詞家阿久悠さんの創作だそうです。これも一種の替え歌ですかね。

OB会報第64号 2016.12.25

## ■ 観天望記（編集委員会から）

編集委員長 石垣（20期）

OB総会と同日に開催されるホームカミングデーのワンゲル企画展に、毎年展示しています会報（下の写真）について少し述べたいと思います。本OB会報は64号です。0号から始まっていますので、65番目となります。OB会設立の翌年1962年に創刊されましたが、総会での正式な承認がなされていなかったため、「ゼロ号」としたそうです。半世紀以上も前の話です。その後、諸先輩のご努力により発行を積み重ね今日に至っていますが、決して順風満帆ではありませんでした。10号（1968年12月発行）と11号（1973年7月頃発行）の間には5年の空白があります。世の中では1970年頃の安保闘争、現役では山派と里派の分裂、OB会も活動が低迷していた時期だそうです。このような状態では会報発行どころではなかったでしょうね。

11号から再度毎年発行されるようになりましたが、15号（1977年6月発行）以降でまた会報の危機が出現します。15号は会報唯一の手書きによる発行で、OB会則の大幅な変更や部創立20周年記念パーティーの報告等が掲載されていますが、一方で前年の2件の事故の苦しみがにじみ出ています。小生が入部したのが1976年、まさに現役やOBの諸先輩が事故対応でご苦労されていた時期です。1年生ながら部存続の危機をひしひしと感じたことを覚えています。残念ながら15号発行の後、16号が発行されるまでに約22年という長い歳月が経っています。その間、勿論OB会活動は行なわれていますが、全体としては低迷期のような感じです。

その後、1999年に一桁の期の方々や30期代の（当時）若い方々のご尽力により、OB会の活動が再出発となり、会報も再度発行されるようになりました。それからは途切れることなく毎年発行され、現在も年3回発行しています。先輩諸氏のお話によりますと、OB会の活動とOB会報の発行は相関関係があり、活動の活発な時期は会報もしっかり発行されており、OB会報はOB会活動のバロメーターだ、とのこと。OB会報の歴史は会報50号に詳しく述べられていますし、OB会ホームページには全会報をPDFで掲載していますので、お時間がある時に会報の歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか。

これからもOB会活動の情報を会報を通して発信し続け、更に会報を発展させていきたいと思っておりますので、OB会員の皆様におかれましては、OB会報の末永くのご愛顧を宜しくお願いします。皆様の多大なお力をいただいて、今年も1年無事に会報の発行ができましたことを感謝すると共に、来年も良き年でありますことをお祈りいたします。



OB会報のオリジナル。年1回ホームカミングデーのワンゲル企画展でご開陳。  
発行から50年以上経ってもオリジナルが全て現存するのは「神ってる！」

## ■ 観天望記（編集委員会から）

編集委員長 石垣 (20 期)

### 「投稿あれこれ」

YVW は今年 60 歳を迎えます。人であれば還暦、会社勤めであれば定年の年です。かく言う小生も昨年還暦でした。小生の一つ歳下の YVW の還暦祝いとして、編集委員会では赤いちゃんちゃんこでは無く、OB 会員の皆様と YVW との赤い糸（関わり）の原稿を募集します。「私と YVW」、「個人史の中の YVW」、「YVW と歩んだ〇〇年」などタイトルは何でも構いません。沢山のご投稿をお待ちしております。掲載は今年の 9 月又は 12 月発行の会報の予定です。宛先は他の投稿と同じ、裏表紙に記載のメールアドレス (kaiho-ywvob@ywvob.com) ですので、宜しくお願いします。



60 年も経ちますと OB 会員の数も増え、現在では 500 人を超えています。年配の方の中にはビックリするような元気な方も沢山いらっしゃいますが、逆に病などで亡くなられた方も居られます。本会報でも 2 つの追悼文をいただきました。その一人、故山崎君(22 期)は、昨年 10 月の OB 総会で監査役を任期満了で退任し、編集委員に就任されました。以前から編集委員会の仕事を手伝ってくれており、正式に編集委員となって「引き続き頑張ります！」と言ってくれた矢先の逝去でした。享年 58 歳で「若過ぎる」としか言いようがありません。ご冥福をお祈りします。一方、元気な方々からの「元気で長生きの秘訣」などをご投稿いただいて、OB 会員の皆様の長寿に少しでも貢献したいと思いますので、こちらの投稿も宜しくお願いします。

## ■ 観天望記（編集委員会から） その 1

編集委員長 石垣 (20 期)

### お知らせ

#### 【 YVW60 周年記念特集「YVW との関わり」の原稿募集 】

編集委員会では YVW 創部 60 周年記念特集として OB 会員の皆様と YVW との関わりの原稿を募集しています。「私のワンダリング史」、「私と YVW」、「YVW と歩んだ〇〇年」などタイトルは自由です。今年 12 月発行の会報に掲載予定で、募集要項は以下の通りです。OB 会員の皆様、ご投稿をお待ちしております。

< 記念特集原稿 募集要項 >

タイトル： 自由 (YVW との関わりの内容)

原稿量： ワードで A4 1~2 枚程度

(写真・絵なども併せてお送り下さい)

投稿締切： 2017 年 11 月 17 日 (金)

投稿先： YVW OB 会 編集委員会 (メールアドレス kaiho-ywvob@ywvob.com)



写真：青山氏(20) の Facebook から借用

#### 【 自由投稿 】

OB 会報は年 3 回発行していますので、自由投稿は常時募集しています。また、ご意見、ご質問などもいつでもお送り下さい。宛先は全て編集委員会 (メールアドレス： 上述) でお祈りします。

### 菊の節句

この会報第 66 号が会員の皆様のお手元に届くのは、菊の節句の頃だと思えます。2013 年 4 月発行の会報第 53 号には二十四節気のことを書きましたが、今回は五節句、特に「菊の節句」の話をしたいと思います。

節句は五節句と言うように 5 つあり、基本は奇数月で同じ数字の日です。ただし、正月は特別ですので 1 月だけは 7 日です。和名（漢名）だと、1/7 は七草（人日（じんじつ））の節句、3/3 は桃（上巳（じょうし））の節句、5/5 は菖蒲（端午（たんご））の節句、7/7 は七夕（七夕（しちせき））の節句、そして 9/9 が菊（重陽（ちょうよう））の節句と言います。

菊の節句以外の行事は七草粥、雑祭、鯉のぼり、七夕祭などで、良く知っていますが、菊の節句の行事は思い浮かびません。何でしょう。調べてみると、奇数は縁起の良い陽数、偶数は縁起の悪い陰数と考え、その奇数が連なる日をお祝いしたのが節句。その中でも一番大きな陽数「9」が重なる 9 月 9 日を、陽が重なると書いて「重陽の節句」と定め、不老長寿や繁栄を願うのだそうです。こんなに縁起の良い日に何もするのは勿体無いので、この日に何かをしてみたいですね。

五節句を締めくくる行事として、菊の香りを移した菊酒を飲んで邪気を払い、長命を願うことをしたそうです。「これだ！」本来は菊を漬け込んで作ったそうですが、お酒に菊の花びらを浮かべるだけでも良いようです。風流ですね。季節や自然と調和・共生するワンゲルにピッタリの行事です。決してこじ付けでお酒を飲もうとしている訳ではありません。風流ですし、あくまで真面目に節句の行事として邪気を払うのです。それでは、9 月 9 日は長命を願い、美味しい肴を食して菊酒の代わりに菊正宗でも飲もうかな。・・・やっぱり、「飲み」でした。（菊の節句と菊正宗は関係ありません）

♪ いつもの肴で いつもの酒 やっぱ俺は～ キクマサムネ～♪（懐かしい西田佐知子さんの歌の CM が聞こえてきます）



## OB会報第 67 号 2017. 12. 17

鈴木前会長、9 年間お疲れ様でした。本会報で毎回ご挨拶をしていただき、更に鈴木画伯作の絵画を沢山出展され、文化の香る格調高い会報にさせていただき、ありがとうございます。文化の香りを継続すべく、今回は小生が絵画と考え裏表紙に富士山の絵を載せました。しかし、筆さえ持っていない凡人の小生が何故絵を描けたのか？ 疑問が残りますよね。答は、今の世の中には文明の利器があるからです。AI を使って写真から絵を作るサイトがありますので、PC さえあれば簡単に作れます。世の中、便利になりました。

西田新会長、今後とも宜しくお願いします。白木幹事長が本紙 P2 で西田会長の現役時代のエピソードを披露されていますので、本欄でも 1 つ。懐かしのマンガで「巨人の星」があり、主人公の星飛雄馬は大リーグボール 1～3 号の魔球を投げていました。2 号は消える魔球、3 号はバットをよける魔球です。1977～1978 年の執行部会で議論が白熱し收拾がつかなくなると、当時主将だった西田会長は人を煙に巻くような(?) 2 号を投げ、サッと議論を収めます。また、強烈な意見・質問が出た時に投げる魔球は 3 号で、議論が噛みあわず皆が冷静になり、場が落ち着きます。当時からこのような魔球を投げていた大投手は、今後 OB 会の更なる発展のためにどんな魔球を投げるのでしょうか、期待しています。そして、微力ながら小生も尽力いたします。（ちなみに、1 号はよけたバットに当たる魔球ですが、当時これを投げていた人の説明は紙面の関係で割愛いたします）

### 編集委員会からのお知らせ

YVV 創部 60 周年記念事業の一つとして、OB 山行委員会と共同で過去の OB 山行を網羅した OB 山行集「片雲の風に誘われて」を制作いたしました。

本会報に同封いたしましたので、是非ご覧ください。

## OB 山行集 2017 片雲の風に誘われて 2017. 12. 17

### 編集後記

編集委員長 石垣 (20 期)

月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老をむかふる物は、日々旅にして、旅を栖とす。古人も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか、片雲の風に誘はれて、漂泊の思ひやまず、海浜にさすらへ、去年の・・・

あの有名な奥の細道の序文です。この文を読むと、芭蕉のように風に誘われて“ふ〜っと”（芭蕉は山に行ったのではありませんが）山に行きたくなりますよね。この自然との触れ合いは我々の活動に通じるところがあり、更に「漂泊」はまさにワンダリングではありませんか。さあ、皆さん、「片雲の風に誘われて」ワンダリングに出かけましょう。この山行集がその助けになれば幸いです。

勿論、この山行集の使い方は自由です。過去の OB 山行の思い出にふける思い出集として、新たな山行計画の参考にする山行ガイドブックとして、写真から仲間の若かりし顔を探す、逆に長年会っていない仲間の最近の顔を探すための写真集として使ってみてください。また、OB 山行委員会の生い立ちを知ったり、小野さんの長年の苦勞に感謝してみるのはいかがでしょうか。色々な使い方を考えてみてください。本棚に綺麗にしまってあるよりは、何回も見て・読んで・使ってもらい、この山行集がクシャクシャになっていることの方が編者の望みです。

今回は初の試みとして OB 山行委員会と編集委員会が共同編集をして山行集を作成しました。ふとした思いつきからこの山行集の編集責任者になりましたが、編集作業をすればするほど OB 山行の奥の深さ、素晴らしさを肌で感ずることができました。OB 山行の運営にご尽力された皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

今後も OB 会の活動が永く続き、OB 山行の回数も重ねてゆき、記念山行集が何回も作られることを祈念して編集後記とさせていただきます。





先日、筑波にある国土地理院「地図と測量の科学館」に行ってきました。入館料無料ですので近くを訪れた時に暇つぶしのつもりで入りましたが、予想に反して興味深い展示が幾つもありました。土日オープン(月曜休館)しており来場者の駐車場もありますので、筑波を訪れた際には是非入ってみてください。

色々な展示がありますが、小生が勝手に選んだお薦め4点をご紹介します。

#### 1.日本列島空中散歩マップ

1階に入るとすぐにある床に描かれている巨大な日本地図。何の変哲もない地図だと思って通り過ぎる人もいますが、これが意外に面白い。絶対にお薦めです。まずは隅に置いてある専用の赤青メガネ(3Dメガネ)を借ります。これで床の地図を立体的に見ることができます。地図の上に立ち足元の日本列島を見れば、上空約100kmからの景色です。立体的で非常に迫力があり、まさに空中散歩です。日本列島の南北をあっという間に縦断したり、南アルプスを一跨ぎしたり、日本海溝の深さを感じたりしていると、「時間を忘れること間違い無し」です。

#### 2.目測の天才

目で長さを測る体験ができる「目測の天才」。自分からの距離や遠くにある柱の高さを目で見て予想した後、予想数字を機械に打ち込めば「正解」「不正解」が出ます。勿論、多少の誤差はOKです。目で見るのが測量の基本だそうですから、ワンゲルの野外活動で鍛えた目測感覚(?)を試してみても如何でしょうか。



#### 3.地理・地図ゲーム

地理・地図に関する色々な問題をPCを使ってクイズ形式で解いていきます。知っていそうで知らないことが、沢山あることを再認識させられました。OB会員の皆様の中で地理・地図に自信がある方は是非トライしてみてください。

#### 4.科学館売店

最後は売店。何の変哲もない土産物売店ですが、結構楽しめます。地図や測量に関する書籍やグッズが満載。百名山グッズもありました。何と、百名山全てのバッジが揃っています。もし、バッジを集めているのに下山時に買い忘れてしまったら、こちらでどうぞ。全て揃っています。ちょっと面白いものであれば、百名山全山名が書いてある湯呑は如何でしょうか。百名山踏破達成祝いのプレゼントに最適です。

(小生はこの売店の売り子ではありません。念のため)

ご興味のある方は国土地理院のホームページにある地図と測量の科学館のページをご覧ください。

(<http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/index.html>)

平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この「観天望記」の原稿を書いているのは7月下旬ですが、東京では毎日猛暑日が続いています。「こんにちは」よりも「暑いですね」の挨拶が普通になっています。日中の最高気温が25℃以上の日を夏日、30℃以上の日を真夏日、35℃以上の日を猛暑日と言いますが、今年7月23日に熊谷で国内最高気温の更新があり41.1℃でしたので、40℃以上の日の名称ができるかもしれませんね。ところで、「暑さ指数」というものをご存知でしょうか。熱中症情報などで最近をよく見かけるようになりましたが、よく分からないので調べてみることにしましょう。ちなみに、今日の東京15時現在の暑さ指数は31.7℃で「危険」です。

環境省のホームページには暑さ指数について次のように書かれています。

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

この説明では何やら複雑な計算をして暑さ指数を算出しているようにも思えますが、実は単純でした。3つの温度の合成で、3つとは以下の通りです。

①湿球温度：水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて測る温度

（温度計の湿球の方ですが、昔、小学校の理科室にあったことを思い出しました）

②黒球温度：黒く塗装された銅板の玉の中心に温度計を入れて測る温度

（日なたにおける体感温度を想定しているようです）

③乾球温度：通常の温度計で測る温度

暑さ指数とは①の70%、②の20%、③の10%を合成したものです。だから単位が℃なんですね。

暑さ指数の歴史も少し調べてみましょう。前述のように1954年アメリカで軍隊の訓練の際の熱中症リスクを判断するために開発されたそうです。その後、1982年にISOにより国際基準となりました。日本では日本体育協会が1994年に暑さ指数を使ってスポーツ活動中の熱中症事故予防に関する呼び掛けを始めたそうです。思ったより古いですが、よく耳にするのは最近ですよ。

我々YWVOBは暑い夏は静かに過ごし、暑さが収まる秋から活動することの方が良さそうです。皆様、熱中症に注意して猛暑の夏を乗り越え、秋から始まるOB山行、苗名小屋建設50周年記念行事等でお会いしましょう。

この原稿を書いているだけで暑くなりましたが、暑さ指数31℃以上は「危険」で「特別の場合以外は運動を中止する」となっています（詳細は次ページをご覧ください）。毎日「危険」と表示が出ている最中に、復旧作業をされている7月豪雨で被災された皆様やボランティアの方々は大丈夫でしょうか。健康を害さないように気温が下がることをお祈りしております。

● 日常生活に関する指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28～31°C※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28°C※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※ (28～31°C) 及び (25～28°C) については、それぞれ28°C以上31°C未満、25°C以上28°C未満を示します。日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より

● 運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35°C以上	31°C以上	運動は原則中止	WBGT31°C以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35°C	28～31°C	厳重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28°C以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28～31°C	25～28°C	警戒 (積極的に休息)	WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28°C	21～25°C	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24°C未満	21°C未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21°C未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

(公財) 日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2013)より

今年は冬季オリンピックやサッカーワールドカップなどがあったからかもしれませんが、スポーツ界からたくさん  
の言葉が流行語大賞にノミネートされました。「そだねー」「もぐもぐタイム」など気持ちが和む言葉や「翔タイム」  
「なおみ節」「半端ないって」など活躍した選手の顔が浮かぶものがある一方、「悪質タックル」「奈良判定」など暗

い部分のものもありました。どの言葉も聞いただけで、今年の起こったことが分かりますから、さすがですね。

さて、今夏は外に出掛けるのも嫌になるくらいの「災害級の暑さ」でした。暑さが一段落した頃に「ポーっと生きてんじゃねえよ！」と誰かに言われな  
いように、観天望記のネタを探すべく書店に行ってきました。すると、こんなポスター（左写真）が目に入って来ました。私たちは当たり前のように使  
っていますが、本のポスターの言葉になるくらいだから一般の人は知らない  
のしょうね。このような小ネタを今後もOB会報に載せて行きたいと思っ  
ています。「計画運休」をせず今年もOB会報を3回発行することができ  
ましたのも、OB会員の皆様のお蔭です。今回も自由投稿を3本もいただき  
ました。来年は「MeToo」と叫んで新たなご投稿をお願いします。（この会  
報がお手元に届く頃には今年の流行語大賞は既に決まっていると思います。  
この中にありますかねえ）

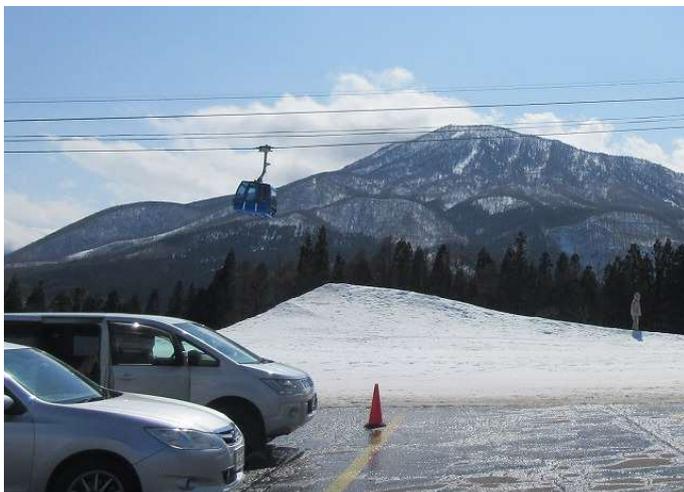


それでは皆様、良い年をお迎えください。そして山行などのOB会の行事でお会いしましょう。

(もう一言)

裏表紙の写真は前号に続き28期からいただいた富士山PW（1984年9月）の写真で、次号まで続くOB会報初  
の連載裏表紙です。

## 写真で見る冬季苗名小屋入りの様子 (1)

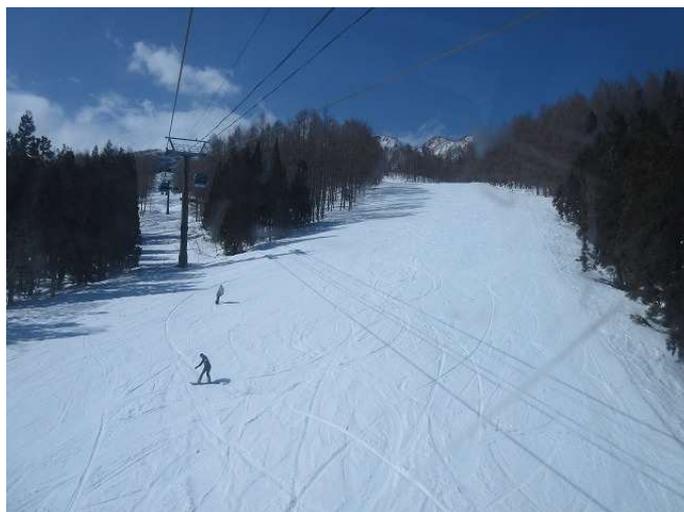


2019年3月21～23日に苗名小屋に入りましたので、その様子をご覧ください。

石垣 (20期)

←①まずは妙高杉ノ原スキー場のゴンドラで移動

↓②ゲレンデをゴンドラで通過



↓③ゴンドラを降りたらツボ足でゲレンデを横断



④スノーシューを履き、ゲレンデ西側の林に沿って下って行く→



### 写真で見る冬季苗名小屋入りの様子 (2)



←⑤シブタミ沢の橋を渡る  
雪上車のキャタピラの跡がくっきり

⑥橋を渡れば、後は真っ直ぐ苗名小屋へ→

3/21 はドピーカンだから、小屋入りは簡単でしたが、天候次第では全く様子が替わりますので細心の注意を！！



### 写真で見る冬季苗名小屋入りの様子 (3)



←⑦3/21 最高の青空と苗名小屋



←⑧3/22 霧の苗名小屋

注意をしましょう

↓⑨3/23 ゲレンデに沿って下山  
スノーシューですから、スキー客、  
スノーボード客にぶつからないように



↓⑩学生時代お世話になった  
「サンアントン」は今も健在

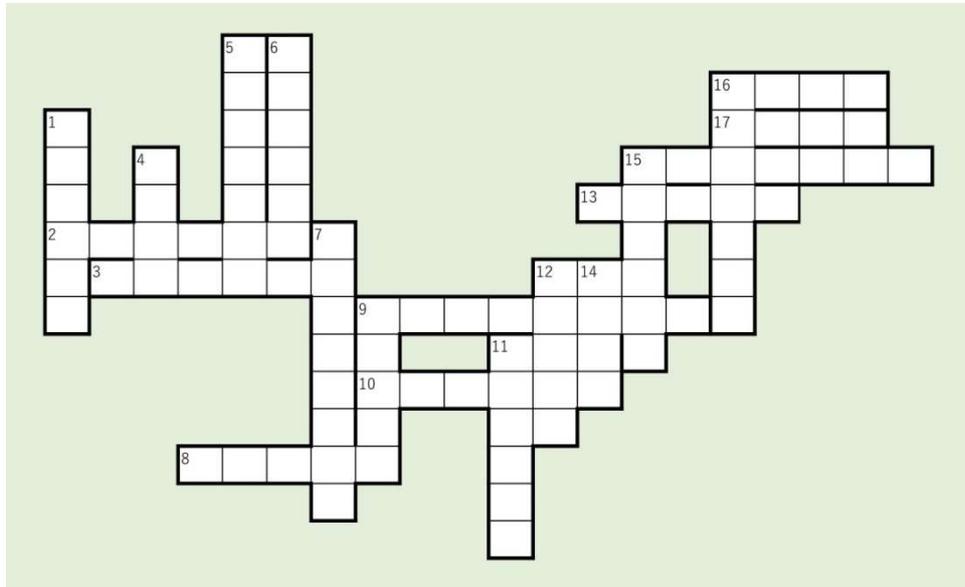


(おまけ) →  
3/23 下山の日朝 6:20  
台所の壁の温度計は、  
外: -3.3°C 内: 0.4°C



**YWVOB クロスワードパズル**

タテとヨコのカギを頼りに、ヒント無しで是非、解いてみてください。ヒントはメルマガ2019年6月号に、答えは次回9月発行のOB会報第72号に掲載いたしますので、それまで時間はたっぷりあります。



【 タテのカギ 】	【 ヨコのカギ 】
1. ○○カール	2. No.6
4. ルート5	3. キソの火噴き
5. 吊り尾根の先	8. 木のクラ
6. ヒノモト7・ミナミ4	9. ワルの横
7. 大も小もある	10. 高いのに西○○
9. ミナミのキタの次	13. ミナミのドーム形
11. 馬の背にクラ	15. ヒダの主
12. 木のクラのミナミ	16. only have come
14. ソトは無い	17. オオナンジ
15. ヤリとナカのナカ	
16. ミナミのミナミのキタ	

ご承知の通り今年が平成最後の年。この原稿を書いているのは4月1日で、まさに今日新元号「令和」が発表されました。あと一月で平成が終わりますので、終わるまでに平成の記念としてこのOB会報でも何かを残したい、と思っていました。しかし、凡人の悲しさか、楽しい企画を創り出す能力はありません。案に詰まって苦しんでいた週末の朝、新聞のおまけ(週末版)を見ていたら、「キター!」。それが、このYWVOB クロスワードパズルです。

クロスワードパズルは、もはや若者はやっておらず、年配の方でも電車の中でやっているのはナンプレですから、クロスワードパズルは今や化石も同然です。その化石に心を寄せてYWV風(?)アレンジをして文化を生み育てる、なんてことを考えてみました。この試作品を作り、ヒントを付けて重鎮・編集委員会の方々に試してもらったところ、簡単に解けてしまいましたので、この掲載ではヒントは「無し」にします。OB会報に載せるパズルですから、分かりますよネ。四角に入れるコトバは・・・。

(ヒントを言い出しそうですので、これで終わります)

今年9月20日は何の日でしょうか。

答えはラグビーワールドカップ日本大会 (RWC2019) の開幕です。しかし、どれだけの人が知っているのでしょうか。来年は東京オリンピック・パラリンピックの年、チケット販売や聖火ランナー募集など既に巷を賑わしています。その陰に隠れてしまったRWC2019を盛り上げる意味も込めて、この観天望記で取り上げてみます。

RWCはオリンピック、サッカーワールドカップと並んで世界3大スポーツイベントと言われ、アジアで初の開催です。「4年に一度じゃない。一生に一度だ。— ONCE IN A LIFETIME —」この素晴らしいキャッチコピーはありますが、日本で盛り上がっているのは年寄りのラグビー経験者だけのような気がします。ジャパン (ラグビーでは日本代表のことをジャパンと呼びます) は7-8月のパシフィック・ネーションズカップで優勝し、8月12日時点の世界ランキングでは9位で、過去最高位と勢いに乗っています。ジャパンより上位の8チームは欧州5ヶ国、南半球3ヶ国で世界の強豪国です。ちなみに世界1位はニュージーランドです。

ラグビーはボールを投げても、蹴っても、持って走っても良いし、ボールを持っている相手をタックルして止めることもできる、とても自由度の高いスポーツです。サッカーは手を使ってはいけなし、バスケットボールはボールを持って走ることができるのは2歩まで、ハンドボールは3歩まで、とえばラグビーの自由度が高いことはお分かりでしょう。体をぶつけ合う格闘的な要素もあり、一方、プレーの自由度が高いので戦術が豊富にあり、戦略的頭脳戦の要素も持つスポーツです。ですから、単純に見ていても楽しいし、マニアックに特定のポジションを注視して、次のプレーや戦術の予想をしたりしても楽しいです。

ラグビーはルールが複雑で、見ていても何をしているか分からないという人のために、経験者の端くれでしかない私が言うのも何ですが、一言でルールを言うと、「立って、ボールより後ろでプレーし、ボールを前に投げてはいけない」です。「立って」とは、タックルしたり、倒されたりして地面に寝ている状態でのプレーは禁止ですので、立っている状態でプレーをするという意味です。ですから、強いチームは倒れても皆すぐに立ち上がります。「ボールより後ろ」とは、攻撃時ではボールより前の位置はオフサイドであり、プレーはできませんから、ボールより後ろの位置に居なくてはなりません。更にボールを前には投げられませんから、ボールを持つプレイヤーの後ろから走り込んでボールをもらうシーンが多いのです。

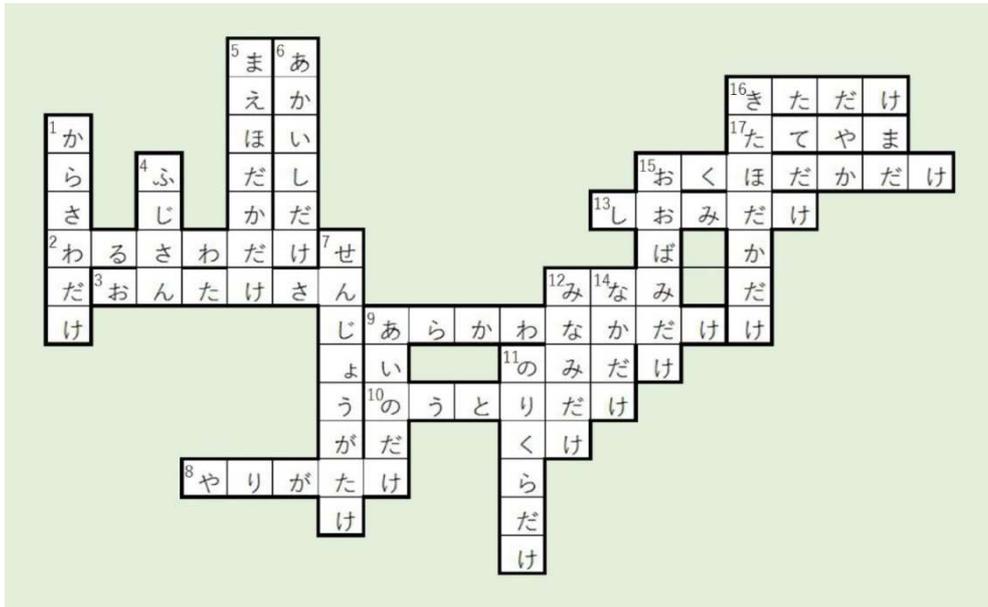
ラグビーの話はいくらでもしたいのですが、書くスペースがないので最後に1つ問題です。ラグビーワールドカップ日本大会の公式マークに描かれているものは何でしょうか。

<追記>観天望記ではOB会らしく山や自然や季節にまつわる事を書いてきましたが、今回だけは関係が無い内容ですみません。「旬の話題」として寛大な心で受け止めていただけたら幸いです。(上の問題の答えは、日本の象徴である日の出の太陽と富士山です。P20裏表紙の大会公式マークをご覧ください)



ラグビーワールドカップ2019日本大会  
公式マークに描かれた富士山

YWVOB クロスワードパズルの答え



【解説】 □に入るのは標高1位から20位の山の名前です。

【 タテのカギ 】

1. 〇〇カール  
 涸沢カールで有名な涸沢岳
4. ルート5  
  $\sqrt{5}$ は2.2360679...「ふじさんろくオオムなく」だから富士山
5. 吊り尾根の先  
 奥穂高岳から見て吊り尾根の先は前穂高岳
6. ヒノモト7・ミナミ4  
 日本で標高7位、南アルプスで4位は赤石岳
7. 大も小もある  
 大仙丈岳、小仙丈岳がある仙丈ヶ岳
9. ミナミのキタの次  
 南アルプスで北岳の次に高いのは間ノ岳
11. 馬の背にクラ  
 馬の背に鞍を置いた山容に由来する乗鞍岳
12. 木のクラのミナミ  
 木偏に倉で「槍」、槍ヶ岳の南は南岳
14. ソトは無い  
 外は無いので「中だけ」(ダジャレ) → 中岳
15. ヤリとナカのナカ  
 槍ヶ岳と中岳の間にあるのは大喰岳
16. ミナミのミナミのキタ  
 北アルプスにある南岳の南は北穂高岳

【 ヨコのカギ 】

2. No.6  
 日本で標高6位は悪沢岳
3. キソの火噴き  
 木曾山脈(中央アルプス)で近年噴火したのは御嶽山
8. 木のクラ  
 木偏に倉で「槍」→槍ヶ岳
9. ワルの横  
 荒川三山の1つ、悪沢岳の横(西)は荒川中岳
10. 高いのに西〇〇  
 農鳥岳より標高が高いのに主峰扱いされない西農鳥岳
13. ミナミのドーム形  
 南アルプスにあるヘルメットのようなドーム形の山容の山は塩見岳
15. ヒダの主  
 飛騨山脈(北アルプス)の主峰は奥穂高岳
16. only have come  
 訳すと「来ただけ」→北岳
17. オオナンジ  
 大汝山が最高峰の山は立山(3つの峰の総称)

今年は台風15号・19号や大雨洪水など災害の多い年でした。被災された皆様、並びにご家族、ご関係者の皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。被災地におかれましては、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、前号の観天望記でラグビーW杯日本大会の盛り上がりをお心配していることを書きましたが、日本代表チームの活躍でそんな心配をしたことすら忘れてしまうくらい盛り上がりました。しかし、昨年春のチケット売り出しからワクワクしていたW杯はついに終わってしまい、今はW杯ロスに陥っています。

W杯ロスを振り払うべく、本号の話を進めましょう。本号裏表紙の写真は1958年5月丹沢 新人ワンダリングで、編集委員の楠本さんが選んでくれたお薦めの1枚です。楠本さんいわく「どの人が新人なのか分からないほど、皆さん落ち着いた風情ですね」。この写真はYWV 歴史資料館からジャックカルして来たもので、服装に登山の歴史を感じます。でも、皆さん、もう少し笑った方が良いですね。渋く笑わない男にはならないで、笑顔の方が良いですよ。更にもう1枚、1959年5月丹沢歩荷訓練の写真(下)です。左から2番目で腰に鉈を着けハンチングにチョッキのいで立ちが、我らの吉野顧問です。オシャレな若者の雰囲気ですよ。

久しぶりに歴史資料館に入ったにわかファンですが、保存してある資料がとても豊富で、遠い過去の現役時代を思い出すというか、写真とデータで昨日のこのように思い出が鮮明になります。「4年に1度じゃない、一生に一度だ」なんて言わず、何回でも歴史資料館に入ってください。皆さんの思い出を鮮やかに映し出すお宝が見つかるかもしれませんよ。

私たち編集委員会は **ONE TEAM** として協力し合い、このOB会報を毎年3回発行しています。委員3名は吉野顧問と共に編集を行っていますが、マンネリ化を防ぐためにも新たな力を探しています。OB会報に少しでも興味がある方は、是非編集委員会にご連絡ください。

また、投稿やOB会報に関する意見、質問、依頼、苦情、叱責などのお便りをお待ちしております。連絡は全て裏表紙のメールアドレスにお送りください。

それでは、皆様にとって来年も良い年となることをお祈りして、今年最後の観天望記を終わりにいたします。(今年は流行語大賞ノミネート語の中からラグビー関連5語を使いました(^o^))。



### 股のぞきする富士山

今回もまた編集委員の楠本さんが裏表紙の富士山の写真を選んでくれました。これは、YWVOB会ホームページ内、歴史資料館の中の映像館にある1枚で「公式W 372番 1966年4月 L養合宿(御坂山)-02 L養合宿(御坂山) 股のぞきする富士山」と書かれています。

股のぞきと言えば天橋立で、股の間から逆さに見ると龍が天に昇って行く姿に見える、という飛龍観が有名です。しかし、富士山の場合、逆さにしたら何に見えるのでしょうか? 「逆さ富士」は有名ですが、これは富士五湖などで見ることができる、富士山が水面に逆さに映る情景ですから、股のぞきとは関係ありません。結局、股のぞきを何故したのかは分かりませんでした。1966年当時、何故股のぞきをしたのか、お分かりの方がいらっしゃいましたら、編集委員会にお便りをお願いします。

ワンダーフォーゲル

この原稿を書いている3月上旬は新型コロナウイルスのニュースばかりで、日本での感染者は日に日に増えピークはまだ見えない状況です。人が集まる場所や室内などの換気の悪い場所ではできる限り避けましょう、という報道で東京都はお花見の宴会も自粛要請を出しています。この会報が皆様に届いて読んでおられる4月上旬では、どうなっているのでしょうか。下火になっていることを切に願っています。

さて、世の中が新型コロナウイルスで大騒ぎになる前に、本屋でブラブラして面白そうな本を物色していたら、一冊の雑誌が目飛び込んで来ました。雑誌の名前は「ワンダーフォーゲル」。この単語には敏感に反応しますよネ。副題は「山の危機一髪Q&A」おなじみ山溪の発行です。知っていること、興味をそそられること、全く知らなかったことなど色々な内容があり、楽しく読むことができました。その中からへーっと思った内容を紙面の関係で2つだけご紹介いたします。詳しくは買って読んでくださいネ。



1. 登山靴のソールが剥がれた時

テープや針金を使うのは靴底のソールパターンが隠れてしまうのでダメ。結束バンドがお薦め。バンドの先端は邪魔なので、ハサミやナイフで切断する。

2. 雷が鳴った時

雷は高いところや突起物に落ちやすい性格がある。「金属を身に着けていると落ちやすい」というイメージがあるが、これは間違い。安全なのは建物の中。山小屋や避難小屋があればすぐに移動。



【 意外と知らないこんなところは危険 】

- ・壁が覆われていないあずまや、テント、木のそば、軒下。  
落雷の危険がある。木のすぐ近くにいるのも、木に落雷した際に側撃雷を受ける危険性がある。

【 命を守るための退避の基本 】

- ・ハイマツや岩陰で身をかがめる： 周囲よりも高く飛び出した状態にしない。
- ・接地面を小さく： 姿勢を低く、腰をかがめ、手は地面につかない。電線に小鳥が止まっているイメージの姿勢。
- ・突起物は取り外す： 雷は鋭利な突起物に落ちやすい性格があるから、トレッキングポールなどは外す。
- ・一直線に並ばない： 退避する時に一直線に間隔を詰めて歩くと、連なる人の体を電流が真っすぐ通り抜けることがある。大人数の場合はなるべく人と人の間隔を空け、ばらけるようにすると被害が少なくなる。

### QRコード

前号(第74号)の観天望記の原稿を書いている時は3月上旬でしたが、その時は既に「新型コロナウイルスのニュースばかり」と書き、会報が届く4月には下火になることを願っていました。しかし、現実には厳しく感染拡大が止まらず、4月7日には緊急事態宣言が出されました。今は8月中旬です。政府は緊急事態宣言を出すつもりは無いようですが、感染は全国に広がり、自治体によっては独自の緊急事態宣言を出している状況です。会員の皆様もコロナとは長い闘いになると感じておられるでしょう。私は収束への安易な希望を持つよりは、いつかは収束するので、それまで気を引き締めて感染予防をしていくことを重視することにしました。

話は変わりますが、本号から参照するURLと共にQRコードを入れることにしました。スマホは今や必需品。いつも身に付けておられる方も多いと思います。今後はスマホを片手にこの会報を読んでみてください。Webページを参照したい時はスマホでQRコードを読み取れば簡単に閲覧できます。まだ挿入したQRコードの数は少ないですが、今後色々なサイトを参照できるように増やして行くつもりです(スマホをお持ちでない方はすみません。ご家族でお持ちの方がおられれば、借りてサイトを閲覧してみてください)。

OB会ホームページ



<http://ywvob.com/>

OB会歴史資料館ホームページ <http://ywwrekishikan.sakura.ne.jp/index.php/>



### メンバー募集

編集委員会では新しいメンバーを募集しています。会報に新風を吹き込みたい、会報記者として記事を書いて掲載したい、会報編集を少しだけ触ってみたい、編集の仕事はよくわからないが何となくやってみたいなど、どんな動機でも結構です。少しでもご興味があれば、編集委員会に是非ご連絡ください。

宛先: [kaiho-ywvob@ywvob.com](mailto:kaiho-ywvob@ywvob.com)

## ■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

10月1日に2020年「山の日記念川柳大賞」が発表されました。これはYAMAP MAGAZINEが8月の山の日を記念して山の川柳を募集したもので、初開催だそうです。ありそうでなかった「山の川柳」。3,958句も集まったそうです。「あるある！」とつい声を出してしまう句がたくさんありました。また、句だけでなく、詠み人も句のコメントも面白いので、最優秀賞1句、優秀賞2句、入賞7句の10句を全て原文のままご紹介します。P9~12のOB会員近況報告の中で、コロナ禍で逆に登山をする機会が増えた、という方もいらっしゃいましたが、多くの方は登山の機会が減ったと思います。川柳で山のことを思い出して笑ってください。

### 最優秀賞 (1句)

信じない さっきも聞いた あと少し (蔵之助/40代・男性)

「あー、これわかるわかる！」と多くの登山者がうなずくシーンを切り取った句が最優秀賞に。登る人にとって、頂上は近いようで遠い…。下ってきた人は近いというけれど…。そんな山のあるあるネタを見事に表現した一句です。ぜひYAMAPを活用して、「あと少し」を視覚的にも捉えてくださいね！

### 優秀賞 (2句)

先どうぞ 言われて抜くが またどうぞ (単独登山中年/30代・男性)

道を譲られて「先に行かなきゃ」って気持ちで頑張っても、また休んでいる間に追いつかれる。そんなすれ違いがちょっとプレッシャーになったりすることも。人間の気持ちって不思議なものですが、人のペースは気にせず、マイペースの登山でいきたいものですね。

くだったら 登り返しは 倍返し (槍沢直樹/40代・男性)

せっかく登ったのに、山頂に行くには一度下ってまた登り返すということがわかったときのストレスはまさに倍返し。せっかく登ったのにもったいないとさえ思ってしまうよね。半沢直樹のドラマも再開され、まさに句の「倍返し」を捉えた一句です。詠み人も秀逸

### 入賞 (7句)

県またぐ ピーク手前で Uターン (マジメカ/50代・男性)

コロナ禍で、自身の住む県外への移動がナーバスになった今年。他県ナンバーの車が肩身の狭い思いをしたこともあったようです。山の尾根は県境になっている場所が多く、県をまたぐ移動になることは必至。そんな社会状況を風刺した素晴らしい一句。

天気予報 十日先まで 知っている (職場のお天気アナ/40代・女性)

今年は長梅雨や台風などで登山の計画が非常に立てづらかった夏でした。毎日、天気予報とにらめっこして、来るべき登山日を待っていた人も多かったと思います。職場のお天気アナさんも、きっと昼休みに職場のパソコンで天気予報を見て、毎日一喜一憂していたのでは？

### 家よりも 会話が弾む 登山道 (ナッツ/50代・女性)

ご夫婦の会話も、50代まで来るとマンネリ化してしまうものでしょうか。登山中は一緒に風景を眺めながら歩くので、普段とは違う新しい発見があって会話が弾む、そんな微笑ましい光景が目に見えますね。ぜひ家でも、登山の思い出話に花を咲かせてください。

### え！転勤?! そこ百名山 ありますか? (転勤族人間/30代・男性)

百名山には、転勤を前向きに捉えられるモチベーションがありますね。転勤族人間さんの転勤先が長野県あたりだとモチベーションMAXなのかなと思わず想像してしまいました。

### キジ撃ちを 私も見たいと 山ガール (ピッピーオジン/70代・男性)

思わずクスッと笑ってしまった、「山用語」を知らないビギナーの山ガールとのやり取りを詠んだ一句。実際こう言われたら、男性は「見に来ないで」というしかありませんからね…(苦笑)。ちなみに、山で排泄しに行くことを男性は「きじ撃ちに行く」女性は「お花摘みに行く」と言いますので、もしご存じでなかった方はこれを機会に知っておきましょう。

### テント泊 背に乗る重さが 欲の数 (煩惱修行僧/40代・男性)

テント泊になると、テントや寝袋はもちろん、水や食糧、炊事道具など持っていくものが増加。「あれば快適」なものをどこまで減らせるかは永遠の課題であり、まさに煩惱の数と重さの戦いです。そんな心の葛藤をうまく捉えた一句だと、YAMAP スタッフからの声もあがりました。

### 何故山に? そこには妻が いないから (安田蝸牛/60代・男性)

「なぜ山に登るのか」→「そこに山があるからさ」が定番の回答ですが、それを逆手に取ったところに面白みがあります。今年、在宅ワークが増えて夫婦関係にも変化が起こったというニュースも。山に退避するご主人、増えているのかも…?

-----

如何でしたでしょうか。OB会員の皆様も「あるある!」とか「そうそう!」とつい声を出してしまったのではないのでしょうか。ご紹介した10句以外にも入選として20句が選ばれています。紙面の関係で全部はご紹介できませんので、私のお薦めの句を1句ご紹介します。

-----

### テント張り クーラーつけてと 家の中 (竹蔵/40代・男性)

在宅勤務で自分の居場所を確保すべく、自宅でテントを張って山気分を味わった人も多かったこの夏。とはいえ、テントの中は暑いので、クーラーは必須ですよ(笑)

-----

コロナ禍で外出自粛の頃に、実は私も家の中でテントを張ってアウトドア気分を味わっていた時がありました。ですので、この句はよく分かります。部屋のクーラーを付けてテントの中に入ると、昼寝に最適な空間ですので、あっという間に眠ってしまいました。夢の中でもアウトドア気分・・・zzzz。

入選20句も全部見たいという方はYAMAPのホームページ (<https://yamap.com/magazine/18928>) を

ご覧ください。こんな川柳を我がOB会でも募集したら、もっと楽しい句が集まるのではないかと



思いますので、機会があればやってみたいですね。

今年はコロナ禍で生活が一変してしまいました。来年はもっと楽しい「普通」の生活に戻れることを祈念しております。皆様におかれましては、健康に十分留意して、良い年をお迎えください。来年もOB会報を宜しく願いいたします。

## 節分って2月3日じゃないの？

2ヶ月前の話になりましたが、何となく節分は2月3日と思っていたら今年は2月2日でした。年によって日がズれることを初めて知りました。二十四節気のことについて小欄で取り上げたこともあります。その中の1つに立春があります。そして、立春の前日が節分です。季節を表す二十四節気は太陽と地球の位置関係で決まり、地球が太陽を1周するのが365日ピッタリであれば、立春も毎年同じ日になるはずですが、実際には365日と6時間弱です。そのため暦と季節がズレないように修正する必要があり、それがうるう年です。4で割り切れる年(例えば2020年)がうるう年で2月が29日までであるのは知っています。でも、365日6時間ピッタリでもなく、正確には365.24218944...日、365日5時間48分45.16...秒だそうです。それで、4年に1日(=24時間)足すと、4年で約45分、400年で約3日増やし過ぎてしまいます。そこで、うるう年を400年に3回減らすことになり、100で割り切れる年はうるう年にはせず、400で割り切れる年はうるう年としたそうです。(こんな決まりがあるとは知らなかった!)最近(?)では1900年はうるう年ではなく、2000年はうるう年ということです。100で割り切れる年の内、400年に1回うるう年にするのが2000年でしたので、この年の近くで二十四節気の日がズレやすくなるのだそうです。

今年の節分は2月2日でしたが、3日でないのは1984年2月4日以来37年ぶり、2日になるのは1897年2月2日以来、124年ぶりの出来事だそうです。(そんなに前だから、節分は2月3日だと思っていたても当然ですね!)来年から2024年までは2月3日に戻り、その後2025年にまた2日になるそうです。恵方巻を食べたり、豆まきをする日を間違わないようにしましょう。(その時はまた話題になるから、間違えることはないでしょうが・・・)

二十四節気についても少し書きます。この会報が発行・発送されるのが4月3日ですので、一番近いのが「清明」で、今年は4月4日になります。「清明」は「清浄明潔」の略で万物がけがれなく清らかで生き生きしているという意味で、花が咲き、鳥はさえずり、空は青く澄み、全てものが春の息吹を謳歌する頃です。1年で一番気持ちの良い季節ですよ。新型コロナウイルスの収束はほど遠いですが、感染予防対策をしっかりと春の息吹を感じに山野に出たいと思います。

## 二十四節気



■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

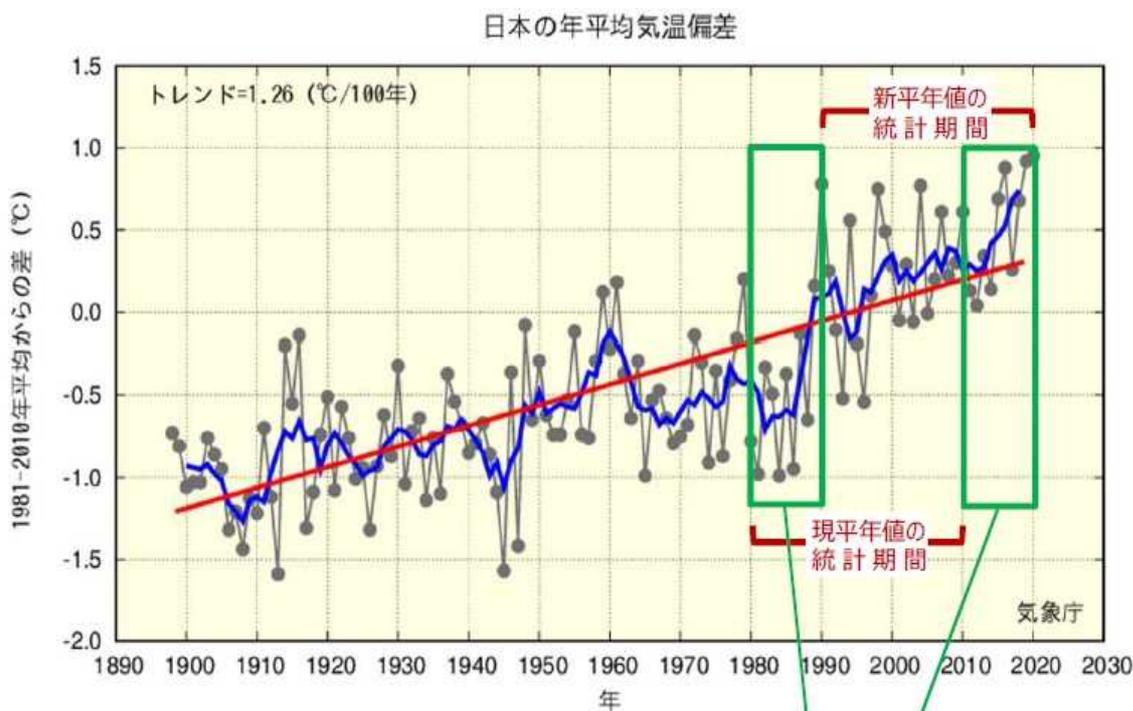
平年値

1年延期され異例づくめだったコロナ禍の東京2020オリンピックが閉会となり、忙しかった(?) テレビ観戦から静かな日常に戻り、この観天望記を書いています。突然ですが、今年2021年5月19日は何の日だったでしょうか。

「逃げ恥カップル」の星野源さんと新垣結衣さんが結婚発表をした日! それも正解ですが、このYWVOB会報にふさわしい正解は、「新しい平年値の使用を開始した日」です。平年値はご存じのように気象や天候を評価する基準として利用され、「平年に比べ暑い夏」などのように使われますよね。オリンピックは4年に1度ですが、平均値は30年間の平均であり、更新は10年に1度です。西暦年の1の年から続く30年間の平均値ですので、今年が更新の年です。今年5月18日までは1981年~2010年の観測値の平均が平年値として使用されていましたが、1991年~2020年の新しい平年値が作成され、5月19日から使用が開始されました。

旧平年値(1981年~2010年)と比較した新平年値の特徴を気象庁の発表から抜粋してみました。やはり、地球温暖化の影響が出ているようです。詳しくは同庁のホームページをご覧ください。

- ・年平均気温は全国的に0.1~0.5℃高く、1980年代後半から急速に上昇しており、温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化による長期的な昇温傾向や数十年周期の自然変動の影響だそうです。また、都市化も影響しているそうです。やはり段々暑くなっていますね。下の図の赤い線がまさに右肩上がりを表しています。
- ・降水量は夏の西日本や秋と冬の太平洋側の多くの地点で10%程度多くなっています。降雪量は冬の気温上昇の影響などにより少なくなったそうです。苗名小屋便りを見ていると積雪は昔より少なくなってきたように思えます。
  - ・さくらの開花はほとんどの地域で1~2日早いそうです。東京の桜は3月が当たり前になったのでしょうか。
- ・台風の発生率・日本への接近数・上陸数、梅雨入り・梅雨明けの時期などは大きな変化はないそうです。でも台風の激しさは年々増しているように思えますから、備えをしっかりとしなければと思いました。



この差が平均値の差となって現

## ■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

### モミジ・カエデ

秋の山で美しいと言えば紅葉です。「紅葉」と書いて「モミジ」と読むくらいモミジは紅葉の代表格です。では、モミジとカエデはどこが違うのでしょうか？ 素人の私には同じようにしか見えません。そこで、今回はモミジ・カエデの小自由研究です。

植物学的にはモミジとカエデは両方ともムクロジ科カエデ属であり、世界では全て「カエデ」、英語では「maple」と呼びます。メープルシロップのメープルです。有名なカエデと言えばカナダ国旗のサトウカエデ (Sugar maple) を思い出しますよね。何とモミジとカエデを分けて呼ぶのは日本くらいなのです。ビックリです。盆栽界では葉の切れ込みが深いものがモミジ、浅いものがカエデとされているそうですが、実は明確な違いはないそうです。

モミジは、秋の草木が黄色や赤色に変わることを意味する動詞「もみづ」に由来し、それが名詞の「もみぢ」になり、それが転じて、特に目立って色を変えるカエデの一部を「モミジ」と呼ぶようになったそうです。カエデは、葉の形がカエルの手に似ているので「かへるで」、それが「カエデ」となったようです。

モミジの名前の由来の方が美しいですよ。モミジを分けて呼ぶのは、紅葉を楽しむ日本の美意識に関係しているかもしれません。それを意識すると、紅葉は更に味わい深く見える・・・ように思えます。今秋は紅葉狩りにでも行こうかな、やはり酒を片手に！

OB会員の皆様、コロナ禍ではありますが、健康で良い年をお迎えください。



## ■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

例年4月発行のOB会報は総会関連の記事が無く、記事の量が少ないので、いつも編集に頭を悩ましています。しかし、本号では「苗名小屋便り」の原稿量が多いため助かりました。例年以上の積雪のため、OBや現役が小屋に入って除雪作業を行い、小屋を維持していただいております。特に除雪のために毎月小屋に入っているOBには頭が下がります。除雪の状況などは苗名小屋便りに詳しく記載されていますのでご覧ください。写真もたくさん載せましたので、冬季の小屋の状況が良く分かると思います。尚、2月の最終日の朝食風景の写真は、交代で撮影した写真を簡便につなぎ合わせたものなので、多少ズレていますがご容赦ください。

私は3年ぶりに20期の同期2人と共に2月に小屋に入りました。先輩OBの安藤さん、竹村さん、小口さんはさすがです。除雪作業から食事作りなどの小屋の生活まで、全てにおいて手際が良く感服しました。除雪作業初心者の方の20期3人は先輩に尋ね、その指示に従って動くだけでしたが、的確な指示のため多少は作業に貢献できたと思います。築50年を超えた苗名小屋を維持するのは大変です。年配のOBだけではなく、若手のOBや現役の力が必要だとつくづく思いました。OB会員の皆様、まずは春夏秋冬の苗名小屋を訪れてください。楽しいですよ。我々の貴重な財産である小屋をこれからも守っていきましょう。

■ 観天望  (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

この原稿を書いている8月下旬ではコロナが猛威を振るっていて、1日の感染者数が最多を更新しています。OB会員の皆さん、お元気で過ごしてください。

本号は例年通りOB総会案内がメインですが、自由投稿も充実しており、何と4作を掲載することができました。編集委員会としては嬉しい悲鳴で、レイアウトに頭を悩ませ、今回は一番後ろが定位置であるこの「観天望記」が原稿の隙間に割り込むことになりました。悩みではありますが、このような悩みは大歓迎ですので、これからもドンドン投稿をしていただき、編集委員会を悩ましてください。宜しくお願いします。

尚、「現役部員の活動紹介」は現役の都合により今回は休みとなりました。と言っても、心配は無用です。コロナ禍でもたくさんの部員が入り、元気で活動しているようです。詳しい活動状況は次号までお待ちください。

## ■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20 期)

「千葉県、出羽三山、石碑」と言えば何でしょうか。千葉県でウォーキングをしていると、「羽黒山、月山、湯殿山」と書かれた石碑がいたる所で見られます。遠い山形県の三山の石碑が何故あるのでしょうか。

ここ房総では昔から「出羽三山参り」が盛んであり、はるばる出羽までお参りをしたそうです。「西の伊勢参り、東の奥参り」と呼ばれ、伊勢神宮と並び江戸時代では有名な聖地で、現在でも屈指のパワースポットです。

私は5年前に月山に登りましたので、今年9月に残りの2つに出かけました。この三山は羽黒山が現在（現世の幸せを祈る山）、月山が過去（死後の安楽と往生を祈る山）、湯殿山が未来（生まれ変わりを祈る山）を表しているので、出羽三山参りの正式な順番は羽黒山・月山・湯殿山で、現在・過去・未来だそうです（昔の歌謡曲の歌詞みたい、と思ったのは私だけでしょうか）。この三山をお参りすることは「生まれ変わりの旅」だそうです、私も還暦を過ぎ出羽三山参りをして、生まれ変わりました（かな?）。現地に行くと、いたる所にこの「生まれ変わりの旅」が書いてありました。不謹慎ではありますが、古くからの「旅行キャンペーンのキャッチフレーズ」みたいなものでしょうか。

羽黒山入口の随神門から約2km、2,446段の石段を1時間掛けて登ると羽黒山の頂上に着きます。ここには、出羽三山の神様を一緒にお祀りしている「三神合祭殿（さんじんごうさいでん）」という出羽神社の社殿があります。ここだけお参りしても3つの神社を参拝したことになるそうです（お得ですネ）。広々とした境内は荘厳で神秘的な雰囲気がただよび、神域に入ったことが感じられます。

一方、湯殿山神社は、大鳥居がある入口の駐車場から山道をバスで本宮に行きます。ここから先も詳しくお話したいのですが、湯殿山神社は「語るなかれ」「聞くなかれ」と言われ厳しい戒律がありますので、残念ですがお話することができません（本当です）。でも、ちょっとだけお話しすると、参拝は土足厳禁で素足にならなければなりません。霊験あらたかな出羽三山にまだ訪れたことの無い方は、是非お参りしてみてください。

今回の観天望記は旅行ガイドのようになってしまいましたが、多くの方々のお陰をもちまして、本年もOB会報を無事3回発行することができました。ありがとうございました。まだコロナ禍は続いていますが、OB会員の皆様にとって来年も健やかな年でありますようお祈り申し上げます。



### 「あんな汚い手を使うなんて、彼は本当に姑息な男だ」の意味は？

今回は言葉の意味の話をしたと思います。まず、クイズです。「姑息」の意味は「ひきょうな」と「一時しのぎ」のどちらでしょうか。「ひきょうな」と思っていたけれど、OB 会報でこんな質問をするということは、本当は「一時しのぎ」の意味でしょう、と答えている方の姿が目には浮かびます。その通りです。私も「ひきょうな」だと思っていましたが、それは誤りだそうです。

OB 会報の校正作業をしていて、ある熟語を見て「この熟語の使い方は正しいのか？」と疑問を持ち何回も読み直しているうちに、かえって分からなくなってしまうことが多々あります。普段の生活でも「あれ？」と思い、考え始めると泥沼にはまってしまいます。編集委員の職業病(?)です。そんな病気の克服のためにネットで調べることが多くなり、冒頭の質問のページにたどり着いた訳です。

文化庁の「国語に関する世論調査」が毎年実施されています。何か堅そうなイメージですが、結構おもしろいですよ。この調査で、2000 年(平成 12 年)と 2010 年(平成 22 年)に「姑息な」の意味を尋ねた結果、本来の使い方と違う「ひきょうな」の回答がそれぞれ 69.8%・70.9%、本来の使い方である「一時しのぎ」が 12.5%・15.0%、だそうです。「姑」はしばらく、「息」はやむ、の意味であり、「根本的に解決するのではなく、一時の間に合わせにする・こと(さま)」で、「ひきょうな」は誤った使い方ようです。更に説明として、次のように載っていました。

「姑息なやり方ばかりで、あいつはひきょうなやつだ」というような言い方は、本来の意味に沿って考えても、全く不自然ではありません。重要なことについて、正面から取り組もうとせずに、「一時の間に合わせ」で済ませることに終始すれば、「ひきょう」と見られるのが当然だからです。このように、意味的につながりやすいところがあることで、「姑息」という言葉は「ひきょうな」という意味で用いられるようになってきたのだらうと考えられます。

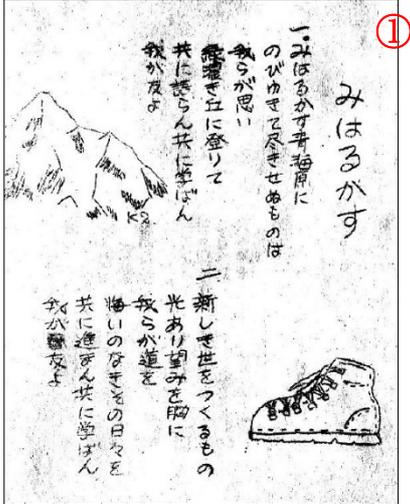
文化庁では、サイトには「言葉の Q&A」というページを作り、YouTube にも「ことば食堂へようこそ！」というシリーズ動画を出しています。暇つぶしに結構使えます。ある言葉に疑問を持ったり、色々な熟語に興味を感じた方は、是非我が編集委員会にご参加ください(ご連絡はメールで:kaiho-ywvob@ywvob.com)。言葉と一緒に楽しみましょう!!

みはるかす

今年の OB 総会は久しぶりにオンラインではなく実開催の予定ですし、横浜国大キャンパスで横国 Day と同日開催になります。と言うことは、みんなで肩を組んで「みはるかす」を歌えますね。

さて、時々話題になる「みはるかす」の歌詞について調べてみました。下の①は筆者が大学 2 年生の時 (1977 年) に YWV 部内で配られた歌集 (ガリ版刷りが懐かしい〜!) です。2 番の歌詞は「悔いのなきその日々を」となっています。何の疑いもなくこの歌詞の通りに、長年歌ってきました。一方、②は横浜国大ホームページに掲載されている歌詞で「悔いなきその日その日を」となっています。当然、大学が公式に出しているのですから、②が正しいことに間違いはないと思います。YWV 関係者だけでなく沢山の人の前で歌う時は、この「正調」で歌う方が良いでしょうね。

更に調べていくと、実はこの「その日々」バージョンは YWV 以外にも YouTube の動画やネット上の歌詞にもありました。また、歌詞だけでなくメロディーが多少異なることも分かりました。あっ、紙面が足りません。この続きはまた別の機会にお話をしたいと思います。

 <p>①</p> <p>みはるかす 青海原に のびゆきて 尽きせぬものは 我等が思い 緑濃き丘に登りて 共に語らん 共に学ばん 我が友よ</p> <p>二 新しき世をつくるもの 光あり 望を胸に 我等が道を 悔いのなきその日々を 共に進まん 共に学ばん 我が友よ</p>	<p>②</p> <p>1. みはるかす 青海原に のびゆきて 尽きせぬものは 我等が思い 緑濃き丘に登りて 共に語らん 共に学ばん 我が友よ</p> <p>2. 新しき 世を創るもの 光あり 望を胸に 我等が道を 悔いのなきその日その日を 共に進まん 共に学ばん 我が友よ</p>
--	---

■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

12月に発行するOB会報は、OB総会報告やOB会員近況報告などを掲載するため、いつもよりもページ数が多いのですが、本号は更に自由投稿を7稿もいただきましたので、32ページという厚い、熱いOB会報になりました。ご投稿をいただきましたOB会員の皆様や原稿を作成いただいた役員の皆様に厚く御礼申し上げます。編集委員会が揚げた今年度のテーマである「会報が本会と会員の架け橋に！」に近づいたかな、と勝手に都合の良い解釈をしています。

さて、今回は編集委員の職業病(?)について少し述べたいと思います。コトバを見るとつい悩んでしまいます。OB会報を発行する際、原稿の校正を行っていますが、原文を尊重しますので修正するのは明らかな間違いだけにしています。しかし、何が「明らかな間違い」かを判断するのが困ります、そして、悩みます。例えば、こんなことがありました。

本号のP13にあるOB山行予定で「千頭星山」があります。この読み方が「せんとうぼしやま」か「せんずぼしやま」かで悩みました。インターネットで検索すると「せんとう・・・」と書いてあるページが圧倒的に多く見つかりました。「よし、これだ!」と思った後に、この名前の由来のページが見つかり「山名の起こりからいうと本来は「センズボシ」と読むのが正しいと推定される。千頭(せんず)とは、サル、シカ、イノシシなどの多獣地を意味する・・・」などと書かれています。「えー、どちらにしよう」山を熟知する方にとっては簡単に答を出せることも、筆者にとっては結論まで長い道のりです。そう言えば、有名な白馬岳も同じようなことがあったなあと思い出しました。

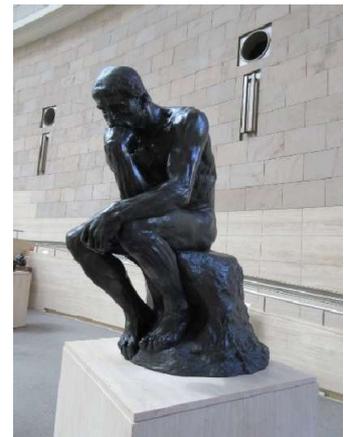
白馬岳の名は信州側山麓地帯で苗代時に馬の形をした残雪模様、いわゆる雪形が見えることに由来している。本来は代馬と書くべきだが、白馬の美しいイメージが好まれ、この当て字が定着したようだ。従い、シロウマと読むのが正しいのだが、村名・駅名なども公式にハクバとなったために山名もハクバ岳と読むようになったようだ。

などと、こんなことまで思っていると、数時間があっという間に過ぎてしまいました。この「千頭星山」の読みだけでこんなに時間を使って悩むなど、もう明らかな病気です。もし、筆者がボーッしているのを見かけたら、また何かのコトバで立ち往生していると思って、そっとしておいてください。

実は、前号の「みはるかす」の話を続きを本号に書く予定でしたが、この「職業病」のため、次号以降に先送りしてしまいました。でも、病気なので責めないでください。お願いします。

本年も多くの方々のお力で、無事OB会報を3号発行することができました。

本当にありがとうございました。皆様にとって来年も良き年でありますようお祈り申し上げます



静岡県立美術館にて  
2018年3月 筆者撮影

■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

続・自由研究「みはるかす」

今回は前号から先送りした「みはるかす」の自由研究の続きです。OB会報第84号で書きましたようにみはるかすの歌詞は横浜国大サイト(脚注①)に掲載されていますから、2番の歌詞は「悔いのなきその日その日」が正しいことは明らかだと思います。友松会(教育系学部同窓会)のサイト(脚注②)には作詞された加藤英子

(旧姓 鶴若)さんのコメント(脚注③)と共に掲載されていますから、間違いはないでしょう。では、間違っていたのは我々YWV だけでしょうか。

ネットワンダリング(筆者の造語)をしていると横浜国大サイトを含め、横浜国大のグリークラブ、女性合唱団、混声合唱団など多くの音楽グループがYoutubeに「その日その日を」と歌っている動画をアップロードしています。あの有名な初音ミク(ボーカロイド)も歌っていました(脚注④)。更にネットワンダリングを続けると、弘陵造船航空会のサイト(脚注⑤)で見つかりました。ここでは「その日々を」と紹介されています。蛇足ながら2番の歌詞では「我らの道を」になっていました。続けてYoutubeでグリークラブの2017年演奏会の動画(脚注⑥)も見つけました。聴いてみますと、私の耳には「その日々を」と歌っているように聞こえます。皆様も一度聞いてみてください。

Youtubeの中をふらふらとワンダリングしていると、歌詞だけでなく、メロディーも2種類あることに気がきました。「つきせぬものは」の箇所はメロディーです。楽譜が分かる方は横浜国大サイトの楽譜をご覧ください。こちらが正しいメロディーです。また、前述の弘陵造船航空会のサイトの「みはるかす他」(脚注⑦)では音源も付いていますし、作曲者注として誤りを指摘して楽譜も載っています。

結局、この「誤り」をしているのは我々YWVだけではなく、他の方々も多くいることが分かりました。みはるかすは言葉と同じように時代と共に変遷しているのではないのでしょうか。もはやこれは「誤り」ではなく、異形態(漢字の異体字のようなもの)だと考えます。公式な場を除いて我々YWVだけで歌う時は今まで通りYWVバージョンで歌いたいと思います。一方、何故「その日々を」となって広がったかは分かりませんでした。この理由や更に詳しい事情をご存じの方は、編集委員会に是非ご連絡ください(メールアドレス:henshu-mail@ywvob.org)。

尚、本話題とは直接関係はありませんが、教育学部 創基150周年記念事業で「みはるかす碑」を建立する企画があり、2028年3月まで寄付を募っています。ご興味のある方は横浜国大基金サイト(脚注⑧)をご覧ください。

#### 【脚注】

①横浜国立大学 学生歌

<https://www.ynu.ac.jp/about/ynu/song/student.html>

②友松会 学生歌「みはるかす」

<https://yuusyoukai.org/p06shiryoshitu.html#k06>

③学生歌の生まれた頃(PDFファイル)

[https://yuusyoukai.org/gakusei\\_shien/a\\_kato\\_umaretakoro.pdf](https://yuusyoukai.org/gakusei_shien/a_kato_umaretakoro.pdf)

④横浜国立大学 学生歌「みはるかす」(初音ミク)

<https://www.youtube.com/watch?v=nafaZST0RiA>

⑤弘陵造船航空会

<https://www.kouryou.org/>

⑥横浜国立大学学生歌 みはるかす 横浜国立大学グリークラブ

2017年10月29日(日) 横浜みなとみらいホール 大ホール

横浜国立大学グリークラブ 創部70周年記念演奏会

<https://www.youtube.com/watch?v=spSeV699pS4>

⑦弘陵造船航空会 「みはるかす他」みはるかす(音源付)

<https://www.kouryou.org/audio/miharukasu.pdf>

⑧横浜国立大学基金 教育学部 創基150周年記念事業

<https://kikin.ynu.jp/project/AnniversaryProjects/kyoiku150>

#### 【脚注のURLのQRコード】

お手元のスマホを使って各サイトをご覧ください。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



